



# 被爆者アンケートから考えよう

## ◎記事から読み取ろう

○アンケートは、いつ、どの団体が行ったものですか。

○何人に配布し、何人から有効回答を得ましたか。

### 核禁止条約「参加を」8割

#### 共同通信 アンケート 被爆者、政府に不満

広島、長崎への原爆投下から75年となるを前に、共同通信が全国の被爆者に核兵器禁止条約について尋ねたアンケートで、「日本政府は条約に参加すべきだ」との回答が白紙上ったことが28日分かった。国連での採決に反対の立場を取った日本に、被爆者の大半強い不満を抱き、署名・批准を求めている実情が明らかになった。

「保有国加入せず、理由に『災害救助や国際平和活動に取組む』と、核兵器禁止条約の目的を踏襲している」とした。今年4月に約10年ぶりの南北首脳会談が実現し、朝鮮半島の非核化について尋ねたところ、期待できる、と日本を取り巻く情勢が、だが、51・8%、期待できないが35・4%、期待できないが6・8%だった。

で体験を話していますが、との質問には、65・4%が「いいえ」と回答。高齢による活動の難しさや「鬱々な状況を感じ出さなくなった」との回答が多かった。体験を話している30・3%のうち半数が「選挙に不安を感じている」とした。

#### 9条改憲は反対過半数

安倍首相が掲げる自らの憲法改正案は、9条改正案は57%以上が「反対」と回答。「戦争放棄を動かし、長年の努力が認められ、戦力保持」を定められた（79歳女性）と、平和憲法が廃される恐れや準備段階への懸念が示された。

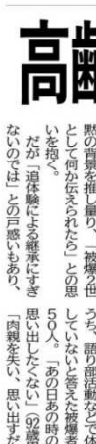
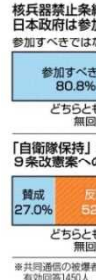
共同通信が実施した被爆者アンケートで、6割以上が自身の被爆体験を話していない回答も、高齢による体力の衰えや幼少期の記憶の乏しが理由と挙げる。一方で、原爆投下から70年を過ぎてもおぼろげに焼け跡や惨状を思い出す人、つづむ人も、消ひく生活をいかに後世に伝えるかという課題が、改めて突きつけられている。



### 消えゆく声 どう後世に

「自分たちも原爆やられた。長崎市の杉本武さん90は7年ほど前初めて家族を偲ぶ。同じ市稲山付近に原爆に飛来され、母を失った。大久保さん、母を失った。大久保さんは長い沈黙の扉を推し開き、「被爆者として何か伝えられた」と思い、だが「追体験による結果にすぎないのでは」と戸惑いもあり、

「何もうええ、思い出すだけで涙が分かんら話せばいい、」と語り部活動が盛んになった。また「数年前から年輪と体調で、語り部活動が盛んになった。語り部活動が盛んになった。語り部活動が盛んになった。語り部活動が盛んになった。」



◎広げよう・深めよう  
○被爆者の方は、語り部活動についてどのように思っていますか。

◎自分の考えをまとめよう \*友だちと意見交換したり、家族と話し合ったりしよう。  
○被爆者の方のことばで印象に残っているのはどんなことですか。